

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
仲村 昌慧	基地問題について	昨年の12月27日に仲井真知事が辺野古埋め立てを承認した。その直後の世論調査で74%の県民が辺野古移設に反対である。また名護市長選挙において、名護市民は辺野古移設反対を明確に示した。にもかかわらず、政府は沖縄県民・名護市民の民意を無視し、辺野古への建設を強行しようとしている。知事が埋め立て承認したことについてと、辺野古建設作業への町長の見解を伺う。	町長	私は町長としては沖縄21世紀ビジョンを基本とした沖縄振興に対するの現政権の政策を支持する意志である。沖縄県民の80%近くが辺野古移設に反対している状況での建設作業に対しては強硬な面もあり、県民の思いに少なからず配慮すべきだと考えます。
仲村 昌慧	教育行政について	7月10日に教育長に就任し、その後の議員全員協議会において就任の挨拶を頂いたが、改めて教育行政についての抱負を伺う。	教育長	教育の目的はいつの時代も変わりなく、子供達に、知識・豊かな心・体力、いわゆる知・徳・体のバランスがとれた「生きる力」を育成していくことだと思っております。その中でも、私は特に、将来を力強くそして遅く生きていくための知識が最も必要な力だと考えます。ですから、子供達には是非とも、確かな学力を身につけさせたいと考えております。そのためにも、これまでの学校現場での経験を生かし、教師の授業力の向上、学校・家庭・地域連携、そして、幼稚園教育の充実等を図り、子供達の学力を高めていけるよう頑張ります。「島に誇りと夢を持った子供達」の育成並びに久米島町の教育の充実に全力で取り組む所存です。
仲村 昌慧	幼稚園の統廃合について	今年度から幼稚園の統廃合が検討されると聞いているが、幼稚園の統廃合について教育長の見解を伺う。	教育長	幼稚園を充実させることは、小中学校の児童生徒の学力向上に大きく繋がるものだと考えます。町内の幼稚園教育の現状として、各園の園児数におけるバランスが極端に悪く、仲里幼稚園と清水幼稚園が共に28名、他の4園についてはその1/3以下の園児数となっております。ところが園児数の多少に関わらず各園の配置教諭は、各園とも1名であり、保育内容によっては、各園の保育に差が出てくる可能性がございます。(園児数の推計からも、)今後同じようなことが予想されることから、町内すべての園児が、保育面や安全面から十分な保育が受けられるような保育環境の整備・充実を図っていく必要があると考えます。その一つとして、幼稚園の統廃合を視野に入れながら、今後も検討をしてまいります。
棚原 哲也	本町の浄水場の規模及び給水能力について	(1)具志川、仲里両浄水場の1日の浄水及び給水量を伺いたい。(2)両浄水場の浄水方式は同一の浄水処理方式か伺いたい。	町長	お答えします。各浄水場の日平均浄水水量、給水量は具志川浄水場がそれぞれ1,344m ³ 、1,247m ³ 、山城浄水場がそれぞれ1,484m ³ 、1,378m ³ であります。浄水場の浄水方式は具志川浄水場が緩速ろ過、山城浄水場が急速ろ過であります。
棚原 哲也	仲里漁港真泊地区から真謝漁港に通ずる海中道路の通行閉鎖状況について	同道路は真泊側から真謝漁港及び海洋深層水研究所又、隣接する商業地域に通ずる重要な道路であり、早期修復開通が必要だと思うがその計画を伺いたい。	町長	現在、県の方で整備計画を進めています。平成27年度新規事業として採択される予定であると回答いただいております。計画としては、平成27年度測量設計後、工事着手となっております。
棚原 哲也	西奥武島西側海域及びイーフビーチ海域の海流の調査を早急にする必要があると思うが取り組み状況は	奥武島西側の砂洲の移動による船の航路(水路)が埋まり、漁業活動に大きな支障をきたしている。7月29日付けで豊石も国天然記念物に指定されているが、豊石周辺の砂洲の移動も激しい状態であり、又、日本の渚百選のイーフビーチの砂も移動が激しく遊泳場所として年々悪化している。調査し、原因をつきとめ、保護及び改善対策を早急にとる必要があると思うが。	町長	県管轄の仲里漁港地域なので、農林水産部と協議した結果、砂洲が移動していると報告は受けているので、県としても海流調査を実施したいとのことでした。調査には、1～3年かかる見込みで、億単位の経費が必要となることから、早期実現できるように関係課で調整したい旨、回答をいただいております。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
島袋 完英	学生寮と学習センターの建設を	(1)現状では里親の希望者は増えないのでは、島外入学者は全寮制にすれば希望者が増えると思うが。 (2)魅力化づくりには色々ありますが、今一番にやるべきことは、進学率をあげることだと思いますが。	教育長	(1)今年度、久米島高校への島外からの入学者は5名おり、そのうちの4名が里親制度を活用しています。県外から沖縄の高校への受験は身元引受人との同居が条件ということがあり、次年度も、基本的には里親制度による受験となります。しかしながら、里親を引き受けて下さる方がなかなかいらっしゃらないというのが現状ですが、今後も説明会や訪問等を通して里親を引き受けて下さる家庭を探していく努力を続けて参ります。併せて、寮制度についても県教育庁との調整を重ねながら、学生寮の建設に向けて推進して参ります。(2)次に、進学率を上げることについてお答えします。現在、町内の中学校と高校は中高一貫教育をおこなっております。連携の内容としては、野球、バスケット、吹奏楽部等の部活動の連携を始め、英語検定、オープンキャンパスの実施、地域行事への合同参加などがあります。そのような交流体験を積極的に行えれば、中学生が、久米島高校の良さや魅力を感じ、自分の選択で進学する生徒が増えると考えます。
島袋 完英	合併12年が経ちました。中間の検証はやらないのか	合併ありきでは無いと思います。多くの目標を掲げて誕生した、新町久米島です。その一つ一つを検証して次に生かすべきではないか。	町長	ご質問のとおり、合併の検証はやるべきだと思います。但し、一つ一つを検証するには時間と労力を要しますので総括的な検証に留めるべきだと思います。
島袋 完英	庁舎建設検討委員会の設置は	庁舎建設検討委員会の設置は	町長	平成26年3月議会での質問で30年以内に起こりえる可能性が70%といわれる大災害が発生した場合、司令塔となる新庁舎建設についての質問に対して回答したと思うのですが他の公共施設の建設等、優先順位や今後の庁舎建設基金の積立て状況を見ながら適当と思われる時期に庁舎建設検討委員会を立ち上げていきたいと思っています。
喜久村 等	区長会の委託料について	10年前に基本給が10%カットされたままになっているが、元にもどしてはどうか。	町長	第1次行政改革で経費の削減の対象として職員の人件費をはじめ、カットした経緯があります。新年度予算に向けて各市町村の情報を参考にしながら調整していきたいと思っています。
喜久村 等	町営住宅の外灯について	現在、町営住宅の外灯の電気料金は各字が支払っているが、その料金を町がもつ事はできないか。	町長	現在、町営住宅の外灯の電気料金は各字が支払っているが、その料金を町がもつ事はできないか。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
玉城 安雄	町長所信表明について	<p>6月定例会の大田町長、所信表明から質問します。</p> <p>(1)人口減少対策について100年の大計で臨む必要があるとし、具体例として産業の創出、雇用の確保が示されているが、その他定住人口を増やしていく戦略とはどのようなことを考えているか伺う。</p> <p>(2)久米島に人を呼び込み定住人口を増やすには、安心して生活できる環境作りが重要である。そのためには医療、福祉、教育、子育て支援等の充実が不可欠と考えるがどのような取り組みをするか具体的に示してください。</p> <p>次に3月定例会において、示された平良前町政の政策を踏襲しつつ各分野での所信が表明されているが、その中から3点伺う。</p> <p>(1)福祉の充実から児童福祉について、認可保育所の支援強化により、待機児童ゼロを目指すとするがどのような施策が考えられるか具体的に伺う。(2)公立図書館建設について、3月定例会で前町長は10月をめどに建設検討委員会を設置すると答弁しているが、図書館の必要性について現町長、教育長の見解を伺う。</p> <p>(3)生活基盤の整備について、東北大震災の後、全国的に上水道の浄水施設、水道管の耐震化が言われているが、本町では老朽化も含め浄水施設、水道管の状況はどうなっているか。また水は町民のライフラインである。安心安全な水の確保はどのように考えるか見解を伺う。</p>	町長 教育長	<p>6月議会の所信表明(町長)</p> <p>(1)について 私の所信表明において定住人口を増やすためには産業の創出、雇用などを申し上げたところですが、今後、全国の移住定住施策で実績を上げている先進事例を参考にして戦略を構築したいと考えています。また、沖縄県が平成26年度から8年間をかけて人口増加計画を打ち出しています。その、一つに離島過疎地域における取り組みが重点項目として掲げられていることから、久米島町としても県の施策と連携して移住、定住施策に取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>(2)また、具体的取り組みの一つとして公立久米島病院を中心とした医療の充実に努めます。 二つ目に高齢者や障害者のニーズに応えた多様な支援サービスを身近に提供できる体制の充実強化を図ります。三つ目に子育て支援の充実を図るため、国の新制度も活用しながら、待機児童の解消や保育の質向上に取り組めます。</p> <p>3月定例会の前町政の踏襲(町長)</p> <p>(1)待機児童の現状として、0歳児が多い状況にあります。職員の配置基準や保育室の基準面積等が主な要因となっています。今後の施策としては、待機児童の解消に向けての新制度が、平成27年度から施行されます。それに伴い久米島町でも子ども・子育て支援事業計画を策定作業中ですが、その中で課題解決に取り組んでまいります。</p> <p>(2)公立図書館建設については、6月の所信表明で公立図書館・町営塾等の教育環境整備に取り組むことを表明しました。今後は、公共施設の整備に向けた方針を打ち出し、進めてまいります。</p> <p>(3)の安心安全な水の確保についてお答えします。町の浄水場の供用開始は具志川浄水場が平成6年度、山城浄水場が平成元年度であります。目視による構造物の老朽化は確認できませんが、流量を計測する計装設備は不具合が生じておりません。水道管の耐震化はされておりません。次年度、上水道施設の耐力調査、計装設備の機能調査を行い、上水道施設整備基本計画の策定を検討しております。なお、水道施設は町民のライフラインとして最も重要な施設あると考えております。</p> <p>6月議会の所信表明(教育長)</p> <p>(2)について (教育の充実)教育の充実についてお答え致します。本町の学校教育の目標は、幼児児童生徒一人一人に、確かな学力を身に付けさせ、生きる力を育むことです。その目標を達成するための支援として、大きく4つの取り組みを行っております。一つ目は、教師の授業力の向上を図る研修等の実施、二つ目に学習支援員等の配置による児童生徒の基礎学力の向上を図る支援、三つ目に特別支援教育支援員配置による、特別な支援を要する児童生徒への支援、四つ目に基本的な生活習慣や家庭学習の定着を図る取り組みを行っております。</p> <p>3月定例会の前町政の踏襲(教育長)</p> <p>図書館の必要性についてお答え致します。図書館は、図書、雑誌、情報資料等を収集、保管し、利用者への提供等を行う施設です。町内全ての学校にも図書室が設置されており、児童生徒にとっては、主に読書活動や調べ学習等に利用しております。しかしながら、学校の図書室の利用だけでは、利用時間、蔵書冊数やジャンル数において十分な活用が出来ない状況があります。なので、放課後や、休日等であっても、都合の良い時間に、求める本や資料がいつでも利用出来る公立図書館は、子ども達にとっても、大人にとっても大変必要な施設だと考えています。</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
宇江原 総清	鳥島射爆撃場の早期返還について	日本政府の安倍内閣は、「集団的自衛権」を閣議決定した。戦前の翼賛政治と同じ道を歩んでいる。 このような中で、米軍は、ますます鳥島射爆撃場の実弾演習を強化するものと私はみている。私が懸念しているのは、一つ、潜在的環境汚染が推測されること。 二つは、山が崩れ、島が海に沈むこと。 三つは、好漁場であること。 四つは、片道100キロのところをドリスポイント廻りで、航空運賃が高いことである。町長に伺う。一つはその答弁決意は今でも変わらないか。二つは、私は早い時期が良いと思うがどうか。	町長	1 平成26年6月議会における発言については鳥島射爆撃場の早期返還については私も返還後の経済効果は計り知れないものであり、積極的に働きかけていきたいと思っております。 2 時期については県・軍転協及び地元の関係団体と連携し、できるだけ効果的なタイミングで実施できるよう調整していきたい。
宇江原 総清	コンクリート護岸の撤去と潮害防備保安林等の植栽について	私は自然再生する事が町の活性化の重要な一つと見ている。特に喫緊課題とされている。現在、計画が進行中の謝名堂川の進捗状況、工法や町が想定しているイメージしたマップはあるのか。又、その他の河川や海岸線マップはあるのか。	町長	謝名堂川の進捗状況については、県担当課によると、平成26年度新規事業で採択され、現在、測量設計委託の発注準備中で、その後、平成27年度から用地交渉を開始し、順調にいけば、平成28年度から工事着手の予定であります。工法については、測量設計業務が発注されてないことから、協議はされていません。また、現在ところ、町が想定している河川や海岸をイメージしたマップはありませんが、平成26年度作成の「久米島町防災マップ」はあります。
宇江原 総清	真謝の天后宮の対聯に対する歴史認識と奉祀について	本町教育委員会は、「出来ない言訳」から始まる。天后宮の対聯に対する歴史、認識と奉祀及び改修についてどう進めていくか。	教育長	対聯の歴史的認識・奉祀については、前回答弁のとおり、専門委員会として本町文化財保護委員会にて協議する予定です。天后宮の整備につきましては、県指定の文化財であることから、県教育庁文化財課に相談しております。文化財としてどの程度の改修が必要かの調査を含め、今後も引き続き協議を行って参ります。
宇江原 総清	久米島一周線謝名堂から泊間の拡張工事について	本件道路は、以前から道路拡張の杭打ちがなされ、当時の県土木建築部長にも要請した。課長は県土木部との情報交換や要請しているが、現在どうなっているのか。町長と建設課長に伺う。	町長	本件道路は、以前から道路拡張の杭打ちがなされ、当時の県土木建築部長にも要請した。課長は県土木部との情報交換や要請しているが、現在どうなっているのか。町長と建設課長に伺う。
宇江原 総清	真泊部落の避難道路と駐車場等の計画について	一括交付金で「避難道路の進捗状況と同関連の道路と駐車場の設置はどうなっているのか。」	町長	平成25年度で避難階段の設計を完了し、平成26年度に工事を発注する予定です。以降の整備については平成26年度に入り、全国的に土砂災害防止法に基づき、「土砂災害警戒区域」の指定が行われ、沖縄県より本地域も指定候補として上がっています。今後の整備については同指定との調整を図りながら進める必要があります。
饒平名 智弘	那覇、久米島間の航空運賃について	現在、島民は県の補助で離島カードを利用し、安く乗れている。しかし、離島カードのない久米島出身の子供や親戚、友人などは島に帰って来たくても、航空運賃が高くて帰ってこれないとの声が多く聞こえる。町は、JTAや県に島外の方々にも航空運賃を安くする要請をもっと強く行い、実現に結びつけて欲しい。	町長	小規模離島については、沖縄県が行っている沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業により、島出身者等を含めて、割引の対象になっていますが、本町は小規模離島に該当しないため、島出身者等は割引の対象とならず、航空運賃が割高となっています。また、宮古島、石垣島については、航空会社の自由競争により格安の運賃となっています。このことについては、平成25年7月25日付けで久米島町の離島住民航路運賃の軽減を求める委員会と賛同団体12団体連名により、8,931人の署名を添えて沖縄県知事及び沖縄県議会議長あてに久米島町も小規模離島に含めるよう要請をしたところです。沖縄県の回答は、久米島を小規模離島に含めると年間5億円程度の財源が必要になる等の理由により困難であるとの回答でした。航空運賃の低減については、今後も他の方法も含めて、粘り強く取り組んで参ります

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
饒平名 智弘	鳥島射爆撃場の早期返還を	鳥島は実弾射撃がずっと行われている為、島の原形がなくなりつつある。この状況が今後も続くと島そのものが無くなるのではないか。かつては、魚がたくさん捕れる漁場であったと聴く。現在はマグロ船の通り道にもなっている。久米島にとって、大事な場所であるので、早期返還を強く要望する。また、鳥島射爆撃場の演習があるために、漁船や飛行機が遠回りしている状況にある。那覇、久米島間の航空運賃が高くなっている原因になっていないだろうか伺いたい。	町長	鳥島射爆撃場は島の周囲を黒潮が流れ、環礁が発達し、豊かな漁場です。返還されれば観光や漁獲高の増により島に多大な経済効果をもたらしてくれます。鳥島射爆撃場の返還につきましては軍転協の最優先要請事項として位置づけられていますので引き続き、県・軍転協及び島内関係団体と連携しながら積極的に取組んでいきます。航空運賃の問題は平成25年6月議会においても答弁しましたが仮に鳥島射爆撃場が返還されても、JTA側からは必ずしも運賃が低減される要因にはならないとの回答がよせられています。
饒平名 智弘	航空運賃の低減処置について	久米島～那覇間の航空運賃が宮古、八重山に比較して、かなり高額であるがどのように認識しているか。そして、今後の対応処置をどのように考えるか。	町長	久米島＝那覇の航空運賃については、割高感が強く、結果として観光客や島出身者等の久米島との交流を阻害している要因となっているものと認識しています。現在の航空運賃制度は、航空各社の自由競争により値段が決まるようになっていて、そこに行政が介入する余地はありません。行政は自由競争が起こるような環境作り、すなわち、複数の航空会社を就航させる取り組みが必要だと考えています。